



保育科通信

第4号 平成28年5月20日

読み聞かせの魅力

18日(水) 5・6時間目に2・3年生がプロフェッショナルによる指導を受けました。

今回の講師は、ポプラ社の堀玲子先生、西山朋光先生、音楽家の村山祐季子先生でした。たくさんの絵本の読み聞かせをピアノ演奏と共に聞かせて頂き、あっという間の2時間となりました。堀玲子先生には、これまで何度も、指導をお願いしてきました。そして、そのたびに絵本の新たな魅力を感じさせて頂きました。

来月初めての保育実習を行う3年生にとっても、これから絵本を学ぶ2年生にとっても、今後活かすことができる貴重な学びとなりました。



<感想より>

- ・絵本を見て、こんなに笑い楽しんだのは初めてです。堀先生の気持ちが伝わるような読み方と村山先生のシーンに合わせて弾くピアノの音がとても合っていて素晴らしいと思いました。
- ・とても有意義な時間でした。大型絵本は子どもの集中が続きやすいこと、1歳前後の子には色彩がはっきりしている本がよいこと、大きな声を出す時は姿勢をよくすることなど数え切れないほどのアドバイスを頂きました。
- ・五感を使って楽しむという言葉が印象に残りました。絵本を見て楽しんだり感動したりするためには、読み手の工夫が大事なのだと感じました。
- ・今回の授業は、保育だけでなく今の自分を気づかされるような授業で、とても感謝しています。
- ・最後に読んで下さった「おまえうまそうだな」は、感動しました。絵本の雰囲気や吸い込まれたのは初めてです。
- ・今回の授業は、今後にいかしたいというところがとても多く、録画したいくらいでした。先生のような読み聞かせができる先生になれるようがんばりたいです。
- ・高校2年になって改めて絵本の凄さに気づかされました。絵本を読むだけでなく、言葉を聞き音楽を聴くことで楽しいと思える貴重な体験ができました。
- ・読み聞かせの実演を見せて頂いたとき、まるで自分が絵本の中にいるような感覚になりました。絵本の主人公と仲間たちと一緒に感情や時間を共有しているようでした。私も先生方のように聞いてくれた人が何か少しでも感じてくれるような読み聞かせができるようになりたいです。